

つながるいのち
今ひびきあう
なむあみだぶつ

2024(令和6)年 5月19日 (日)

親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

おはなし
釈徹宗
先生

ちごぎょうれつ
稚児行列



ききょうしき
帰敬式



コーラス



詳細が決まりましたらお知らせいたします



本山
誠照寺

www.jyosyoji.org

☎ 0778-54-0001



親鸞聖人ご生誕 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要 趣意書

2023 年、宗祖親鸞聖人がこの世に誕生されてから 850 年を迎えます。また翌年には教行信証を著された年である立教開宗から 800 年を迎えます。

私たち真宗誠照寺派では、2024 年 5 月 19 日にその慶讃法要をお勤めいたします。

今とはまるで時代が違う鎌倉時代に生きられた親鸞聖人のご誕生、立教開宗について、現代の私たちが慶讃させていただき意義はどこにあるのでしょうか。

社会の変化が激しく、インターネット中心の日々に生きる私たちとは共通点が無いように思うかもしれません。ですが人間としての自己中心的な欲望に起因する私たちの苦しみの本質は時代を経ても全く変わっていません。

思えば親鸞聖人の生きられた時代も自然災害、飢饉、疫病、戦乱が繰り返しまん延するつらい時代でした。現代の私たちがかかえる苦しみと同じ苦しみがそこにありました。そして親鸞聖人御自身が、思い通りにならない苦しい一生を通して、阿弥陀如来のお力により救われていくお念仏の道を示してくださいました。そして教行信証や三帖和讃などの諸書物を著され、後世につなげるべく遺してくださいました。

これは、不安な現代を生きる私たち自身の生きる道そのものであり、私たちの人生の教科書ともいえます。漠然と先が見えない不安に陥りがちですが、実は手元にあるこの大切なものを私たちがしっかり見ていないだけかもしれません。

教行信証の最後に、

「先に生まれんものは後を導き 後に生まれんものは先を訪え」とあります。

人生の道、そして道標となる書物を、身をしていして遺して下さった親鸞聖人のご誕生・立教開宗の慶讃法要を機縁として、私たち自身の生きる道をそこにたずねていきたいと思ひます。

そして頂いたご恩に深く感謝し、周りの人や後世に伝えていくことで、ご恩に報いるための法要としたいと思ひます。

令和 4 年

真宗誠照寺派 本山誠照寺